

昔の栄校区

古墳時代

高師石塚古墳

高さ2.7m、直径1.3mの円墳 詳細は不詳



愛知大学公館敷地内にあります。

明治時代

* 明治初年

- ・ 山田村、小松新田 小松原街道沿いに小さな集落があった。

* 明治 11 年

- ・ 福岡村に合併 田原街道沿いに店ができた。

* 明治 39 年 8 月 31 日

- ・ 高師村に合併（大崎村、磯辺村、野依村、植田村、福岡村）

* その後、昭和 7 年 9 月 1 日、豊橋市に合併し、南栄町ができた。

愛知大学公館

明治 45 年 5 月に陸軍第十五師団長官舎として建設された。

大正 6 年に師団長となった久邇宮邦彦（くにのみやくによし）王の娘である良子（ながこ）女王（のちの昭和天皇皇后）もここで少女時代の一時期を過ごされた。

正 14 年に第十五師団が廃止された後は、陸軍教導学校・予備士官学校長の官舎などに使われたが、昭和 21 年に愛知大学が創立されてからは、学長をはじめ教職員住宅として、その後は外来教員の宿舎として使用されていた。

師石塚町（カーマの北）の小松原街道沿いにあります。平常は中へは入れません。



学校周辺の様子です。

